

くらしだより

大森社長のコラム 『初心忘れるべからず！』

■今年は・・・

日本には還暦を祝う習慣がありますが、これは干支[えと]
(十干と十二支を組み合わせたもの)が60通りの組み合わせとなり、
その60通りの組み合わせ毎に決まっている人生における毎年の課題を全てクリアし、一人前の
人格になったことをお祝いするのだそうです。

今年の干支は甲午(かのえうま)。

課題は「今までのしきたりや、当たり前と思ってきた習慣、考えを排し、創造力を伸ばして新しい
事業や取り組みのためのルールやマニュアルを作り出す時期」となります。

ただし、「旧勢力との対立には上手に且つ、慎重な対処が必要。」な年とのこと。

これを、私も自分や会社に当てはめて、クリア出来るように
一年間意識して取り組んでいきます。

ところで、上毛新聞マイホームプラザ新太田会場に建設中
の新展示場も棟上げが済み、完成オープンに向けピッチを
上げています。

4月にはオープニングイベントも企画していますので、
どうぞお楽しみに。



新展示場の前で

Contents

1. 大森社長の「初心忘れるべからず！」
2. タカトースタッフの「ほっとひといき」
3. 企画室 presents monthlyレポート
4. 工事部の「ちょっと一服3時やすみ」
5. タカトーさんちの現場探訪
6. 今月のスポットライト&編集後記

タカト スタッフの

ほっ

とひといき



営業部・石井 大作

「いつかはクラウン！」



みなさんは「いつかはクラウン。」というセリフを聞いたことありますか？
こんにちは！営業部の石井です。

今の20代の方はあまり聞いたことのないキャッチフレーズかもしれませんね。
ちなみに企画室の桑原さん、大槻さんに聞いたところ「何それ。」と一刀両断されてしまいました。

私は免許を18歳で取得してからクラウンが好きで好きでたまらない人間です！(^_^)！その理由がまず壊れない！（語弊かもしれませんが・・・）そして運転の楽しさ、極めつけが外観のカッコよさですね。
当然お家の外観も人それぞれ好みがあると思いますが、車に関していうと私にはクラウンという愛車がNo.1です。

これからも恐らくずーっとクラウンを乗り継いでいけたらいいなーと思う今日この頃でした。・・・余談ですが「いつかはクラウン」という言葉が広まって定着したのは、石坂浩二さんがコマーシャルで1983年に言ったところからだそうです。

1983年・・・俺が生まれた年だぁー(+o+)



▲愛車のとなりで嬉しそうな石井部長



設計部・川堀 諒子

「平面だけでなく空間で」

設計打合せの中でも“照明プラン”は大好きな打合せの1つです。新人の頃は紙面上で考え平面的にバランスを見て計画していました。現場に行くと何もおかしくはないし、不便さも無い、明るさもしっかりとれている・・・けど雰囲気がいいとか落ち着く感じとは、何か違うなって・・・。それからのプランは照明メーカーからアドバイスをもらいながら自ら研究していく中で、落ちつく照明配置、器具選びをするようになりました。お客様から「この場所にこの照明を提案してもらって本当良かった！」などの声をかけてもらうと、嬉しく感じます。

平面ではなく、空間で計画していく。目立たせたい場所を決める。どんな生活が予想されるか、してほしかを考える。某メーカーで教えて頂いたことですが、「あかりだまり」をつくる。これは、リビングのテーブル面に光を落とすとか、部屋の隅にスタンドを置く、といった事です。

例えば、お部屋の真ん中にだけ電気があるお部屋でも簡単に落ち着く雰囲気を出すには、“テレビの後ろに器具を置く”“ソファの横などに背の高いスタンドを置く”などをすると一気に落ち着き感が上がります！



▲雰囲気を演出するフロアランプ



▲テレビ後ろ照明



今月のできごとを企画室スタッフが皆様にお届けするコーナーです。

こんにちは、大槻です。

今回は2月1日(土)・2日(日)に邑楽郡大泉町で開催された「完成見学会」の様子をお届けしたいと思います。

土日ともお天気に恵まれ2日間で34組のご家族にご来場いただきました！

「コの字型」が特徴的な今回のおうちは、2世帯でお住まいになるということで、お互いのプライベートを大切にしながらも、「近すぎず・離れすぎず」を実現できる間取りになっています。

また、内観はこだわりの珪藻土の塗り壁をはじめ、抗酸化、無垢材を使用し自然素材いっぱいの温かみのある空間に。



スタイリッシュな外観



中庭のウッドデッキ



便利なキッチンカウンター



主寝室の造作机

なかでも、中庭の6帖ある広々ウッドデッキは
「こんなスペースがあったらBBQしたいね」
「コの字で囲まれている感じがいいね」

と、とても大好評でした。

そのウッドデッキを眺めながらお料理できるオープンキッチンカウンター付きで、朝食時やおやつタイムに大活躍！家事をしながらお子様とコミュニケーションをとることができます。

もちろんカウンターはタカトーホームといえど！の造作家具。あらゆる要望に対応できるので自分サイズのオリジナルをつくる事が出来ます。

今回の見学会を快く引き受けて下さったK様、大変お世話になりました。スタッフ一同お礼を申し上げます。

また現地に見学に来て下さった皆様、ありがとうございました！

【追記】2月8日(土)・9日(日)に邑楽町で開催予定だった見学会は、降雪のため安全を考慮中止とさせていただきます。楽しみにして下さっていた皆様、誠に申し訳ございませんでした。

担当：ホリっちょ



タカトーさんちの

現場探訪

■第17話 『外構』

こんにちは！ホリです。

少し暖かい日が来たと思ったらまた寒い！まだまだ冬ですね。

さて、今回は外構のお話です。「うちはまだ外構やってないんだよ！」っていう方必見です。ご自分でも簡単に？…やる気があれば(笑)、出来る外構工事をご紹介します。

例えばこんなアプローチ。真ん中は目の細かい色付の砂利や玉砂利や飛び石や枕木などお好みで敷くとして、両サイドに並べる四角い石。「ピンコロ石」と呼ばれる石です。これ、ご自分でも施工する事が出来ます。では、早速・・・



ピンコロ石のアプローチ

まずは、アプローチの形に穴を掘って(ピンコロ石と同じ深さ位)、ジョイールホンダでモルタルとピンコロ石を買ってきます。モルタルを練って穴の底に敷き、その上にピンコロ石を並べます。(写真①)

少し乾いてきたらピンコロ石の隙間をモルタルで埋めて表面をスポンジでゴシゴシ洗えば完成！(写真②)



写真①

このように割と簡単に、手間もそんなにかけずに作れちゃうんです。3段に積みば花壇が出来るし、敷き詰めればピンコロ石でアプローチが出来るし、慣れてきたらピンコロ石で外水栓作っちゃう方も！

ピンコロ石の色や雰囲気も色々だし、ご自分で少しずつでも手を加えたお庭って愛着がわきますよね。

計画を立てるなら、まだ肌寒い今が良いタイミングです。

この春はぜひ、ご自分でやる外構工事、いかがですか？



写真②

今回はこの辺で。また次号でお会いしましょう！

2月の主役は 今月のスポットライト 営業部 森山浩輔

タカトースタッフが今月の主役を分析してみました！



自己紹介

名前：森山 浩輔 (もりやま こうすけ)

誕生日：9月24日 (てんびん座)

出身地：太田市

血液型：O型

Q：お菓子好きな森山さんのオススメお菓子は？

A：個包装のさくさくパンダですかね。かわいいデザインのパンダもさることながら小さなクッキーにチョコがかかっていて、普通に食せればサクサクでとっても美味です。

ただし、暑い時期の開封は要注意です。溶けてると悲惨で・・・。



設計部
武藤 均



あだ名はモーリー、猫好きでたまに猫話で盛りあがります。

設計打合せ中、時間があるとお子さんの面倒を見てくれます。なぜか(?)お客様のお子さんからとても好かれます。みなさんも森山保育園にお子様を預けてみては？

工事部
丸山 三郎



朝の挨拶はいつも爽やかですね。森山さんはお客様のことをいつも優しい感じで見てるオーラが出ている(と自分は思います)ので営業職は天職だと思います。凄いゲームオタクのようで、昔の私もそうだったので気持ちがわかりますよ。

営業部企画室
吉間 由佳



なんか常に変な文房具を持っています。得意分野の話になるとすごくアツくなり、ちょっぴりオタクキキキ気質なんじゃないかな?と感じます。(私も同じオタクキキキだけに同じ匂いがします...)なにより森山さんといえば!甘党です!

編集後記

2月が一番寒い時期ですが、みなさま風邪など引いていないでしょうか? そいえば先日はバレンタインデーでしたね(*^^)v みなさま、チョコは手づくり派ですか? それとも高級チョコ派ですか? それともあげない派ですか? 笑

さて、お読みいただいている『くらしだより』には、バックナンバーもございます。ご覧になりたい方は、info@takatohome.co.jp または、0120-37-2552 まで☆

ちなみにチョコは手づくり派の編集長 大槻でした♪

